

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 90

事務事業名	スポーツ振興事業
-------	----------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	市民環境部		
課名	地域げんき課スポーツ振興室		
課長名	出口 孝	内線	186
担当者名	石山 光昭	内線	187

基本目標		健康でいきいきと暮らせるまち
政策	020102	健康づくりの推進と医療体制の充実
施策		スポーツの振興
関連施策		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保険体育総務費
事業コード	030000	スポーツ振興事業

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市民、スポーツ推進委員、スポーツ指導者、スポーツイベント開催者、スポーツで優秀な成績を収めた市内小学生及び中学生		
意図 対象をどのような状態にしたいか	スポーツの推進、スポーツ人口の拡大、競技スポーツ指導者の育成を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員に、住民のニーズに応じた、スポーツの実技等の指導・助言並びに住民スポーツ活動の促進、市主催のスポーツ行事の協力を行ってもらう。また、スポーツ推進に関する重要事項について調査審議等を行うスポーツ推進審議会の運営を行う。 ・競技スポーツ指導者に対し指導者認定講習会参加費の助成を行う。 ・小学校区内で行われる地域スポーツイベントに対する助成を行う。 ・スポーツで優秀な成績を収めた小学生、中学生を表彰する。 		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法
根拠法令、要綱等	スポーツ基本法、大村市スポーツ推進審議会条例、大村市スポーツ振興基金条例、大村市スポーツ推進委員に関する規則及び大村市小学生中学生スポーツ表彰規則		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① スポーツ推進委員数	計画値	30	30	30	30	
		実績値	30	30	30		
		達成度	100.0%	100.0%	100.0%		
活動指標	② 小学校区内で行われる地域スポーツイベントに対する助成件数	計画値	14	14	14	14	
		実績値	13	13	14		
		達成度	92.9%	92.9%	100.0%		
成果指標	① スポーツ推進委員が支援する市主催のスポーツ行事の参加者数 市民スポーツ大会、ロードレース大会、陸上カーニバル、市民ウォーク、チャレンジデー、ニューススポーツフェスティバル、市民体力測定会	計画値	72,700	73,000	73,300	70,000	
		実績値	70,172	65,172	68,231		
		達成度	96.5%	89.3%	93.1%		
	② スポーツ特別賞及びスポーツ賞受賞者数	計画値	130	115	130	130	
		実績値	90	154	144		
		達成度	69.2%	133.9%	110.8%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,964	4,725	4,715	4,614	3,472	3,372	3,372	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	1,167	1,334	1,662	1,513	1,595	1,495	1,495	
一般財源	1,797	3,391	3,053	3,101	1,877	1,877	1,877	
② 人件費(千円)	11,031	9,365	7,365	9,521	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	1.23	1.18	1.00	1.20	小中学生のスポーツ表彰の実施等	小中学生のスポーツ表彰の実施等	小中学生のスポーツ表彰の実施等	
時間外勤務(時間)	258	224	156	120				
嘱託等人数(人)	0.40	0.00	0.00	0.30				
フルコスト(①+②千円)	13,995	14,090	12,080	14,135				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	スポーツ推進委員協議会と連携し、広報誌を発行してニュースポーツやスポーツイベントの周知を継続して行った。 また、表彰規則に基づき、優秀な成績を収めた小学生と中学生を3月にスポーツ表彰も継続して行った。
事業が抱える問題・課題等	小中学生のスポーツ表彰については、小中体育連盟や各種競技団体から推薦してもらっているが、一部の団体が所属する選手の大会結果を把握していないため、スポーツ表彰に推薦しない場合がある。そのため市が可能な限り、推薦対象者を把握し、推薦漏れがないように調査を行う必要がある。

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	スポーツ推進委員やスポーツ推進審議会委員が活発に活動するためには、市の支援は必要である。また、小・中学生を対象としたスポーツ表彰は児童・生徒のスポーツに対する意欲を喚起しており、競技力向上につながっている。						
妥当性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	市のスポーツ振興に関する活動や審議をする団体に対して、市が関与するのは妥当である。また、スポーツ表彰は市からの表彰であり、代替することはできない。						
有効性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	スポーツ推進委員が、研修会や講習会を開催し、また学校や団体などに出むいての講習活動を行い、事業成果に貢献した結果、スポーツイベントの参加者数は、平成26年度より大きく増加したが、目標は達成できなかった。スポーツ表彰については目標を上回り、スポーツに対する意欲を高め、競技力の向上に成果が上がっている。						
有効性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	スポーツ推進委員の活動はスポーツの推進に特に貢献していると思われる。また、スポーツ表彰を受けるということは、心身ともに充実した生活を送った成果であり、その達成感を次の成長へつなげることに寄与している。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	スポーツ推進委員やスポーツ振興審議会委員の報酬は、条例で定められている。また、スポーツ表彰の賞品の選定等、コストの軽減を行っており、これ以上の削減は困難である。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	現在の運営を維持していく。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	スポーツの推進を図るためにはスポーツ推進委員と連携し、ニュースポーツやスポーツイベントを開催していく必要がある。またスポーツ表彰もスポーツへの意欲を高め、競技力の向上に資するため、今後もこのまま事業を継続したい。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。